

平成 27 年度 施策評価シート

		作成日	H28.11.30
基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～ 分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり ～	
政 策	2	生涯を通じて学べる学習環境づくり	
基本方針	地域づくり、人づくりの観点から、町民が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学べる環境づくりと充実に努め、学びを通じて仲間づくりや交流など地域の連帯と地域教育力の向上に努めます。		

基本施策	1-3-2-①	生涯学習機会の充実	
主管課名	生涯学習課	所属長名	宇 戸 佐 一 郎
関係課名			
1 次評価	基本施策の評価		
	<p>○多様な学習ニーズを的確に捉え、関係機関が連携し、ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実・提供</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・住民が様々な分野で主体的に学習活動が行えるように、町部局NPO等と連携して公民館講座を実施した。(7講座 延671名参加)</p> <p>■評価(問題点とその要因) ・学習ニーズにあった人材(講師)の把握が必要である。</p> <p>■今後の取組方針 ・IT講座など時代にそった講座と、地元の歴史散策や伝統芸能等体験講座を開催するなど、多様化するニーズに対応する。</p>		
	<p>○町民が集い交流できる場として各生涯学習施設を有効活用し、体系的な生涯学習プログラムの提供</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・社会教育施設の適正な維持管理を行うとともに、年間を通じて生涯学習施設を活用し、生涯学習サークル団体や文化団体が様々な活動を行った。(9施設 利用延数114,113名)</p> <p>■評価(問題点とその要因) ・経年劣化による施設老朽化がすすむ中で施設の有効利用を考慮した上で活用を精査し、学びを生かすシステム(生涯学習ボランティア)構築が必要である。</p> <p>■今後の取組方針 ・施設の有効利用を考慮し、施設の移管・統廃合をすすめ、学びを生かすシステム(生涯学習ボランティア)構築を目指す。</p>		
	<p>○地域コミュニティの拠点となる自治公民館活動に対する支援</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・地域の活動拠点である公民館類似施設等(集会所等)を活用して、地域住民が生きがいをもって生活をできるよう、学習の機会を提供しており、活動費補助金を活用し1件の補助を行った。</p> <p>■評価(問題点とその要因) ・自治公民館としての取り組みは様々あるが、モデル事業となる取組みの情報収集が必要である。</p> <p>■今後の取組方針 ・町部局と連携し、自治会の先進的な取組みには、積極的な支援を行っていく。</p>		
2 次評価	<p>生涯学習は、いつでも、どこでも、誰でも自らが学びたい方法で学ぶもので、学習対象、方法は人により異なる。より効果的かつ町民ニーズにあった学習機会を提供していくため、講座などの募集人数の適正化、町民需要にあった学習機会の提供の充実を図っていくこと。</p>		

基本施策	1-3-2-②	生涯学習による人づくり	
主管課名	生涯学習課	所属長名	宇戸佐一郎
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	○各種社会教育関係団体の活動支援、社会教育活動の活性化及び指導者の育成 ■平成27年度の取組概要 ・「学び」の喜びを育む生涯学習の推進のため、社会教育関係団体（5団体）・自主学習グループ（40団体）の育成と活動支援を行い、生涯学習基盤の充実を図った。 ■評価（問題点とその要因） ・時代の変化により町の支援が必要であり、リーダー的生涯学習ボランティアの確保・育成、また人材バンクの組織化のため、担い手の発掘が必要である。 ■今後の取組方針 ・引き続き、各種社会教育関係団体の活動を支援し、指導者人材の確保・育成につとめる。		
	○次世代を担う青少年の健全育成を果たすため、自発的に行動し、豊かな人間関係を構築するための各種事業や広報啓発活動 ■平成27年度の取組概要 ・ジュニアリーダーの育成、姉妹町村等との交流を図るため、育成会事業を中心とした各種事業（体験交流学习事業：北相木村8名 南阿蘇村27名 広川町10名、球技大会など）を実施した。 ・県子ども未来課と連携し、有害環境の浄化を目的とした、町内店舗の立入調査を行った。 ■評価（問題点とその要因） ・青少年と取り巻く問題を把握し、それに沿った事業内容の構築が必要である。 ■今後の取組方針 ・今後も引き続き、育成会事業を主として、関係団体と連携し、各種事業展開をすすめていく。		
	○地域の人材を地域における学習活動やボランティア活動に活かした地域活性化 ■平成27年度の取組概要 ・生涯学習グループと中心に、学んだことを生かす生涯学習ボランティアの育成と、その人材バンクの組織化を推進した。 ■評価（問題点とその要因） ・生涯学習ボランティアをはじめとした人材の育成・確保が難しい。 ■今後の取組方針 ・引き続き、リーダー的生涯学習グループと生涯学習ボランティアの確保・育成につとめ、人材バンクの組織化を目指す。		
2次評価	いつでも、どこでも、誰でも学びあい、集える環境の整備と学習活動の充実を図っていくため、公民館等で開催される講座や活動を支援するボランティアの育成に取り組むとともに、講座等を通して習得した知識、経験、技能などを有する人材の把握と、その人材を生涯学習活動に活かしていくため、関係団体等と協働していく仕組みづくりを確立させること。		

基本施策	1-3-2-③	学習基盤の整備	
主管課名	生涯学習課	所属長名	宇戸佐一郎
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○市民のニーズに応じた学習環境の整備、機能充実</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の教育文化、産業の振興及び福祉、健康の増進とスポーツの振興を目的とした多目的施設として設置している備蓄記念会館を中心に、社会教育施設の健全な運営及び維持管理に努めた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の経年劣化による老朽化が顕著である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズと必要性を考慮し、計画的改修計画を立案する。 		
	<p>○学校・家庭・地域・各種団体との連携、子育て支援を通じて豊かな心を育てる家庭及び地域教育力の向上</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県・家庭・地域の各種団体と連携し「ながさきファミリープログラム」を活用したファシリテータの派遣を実施した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ながさきファミリープログラム」のファシリテータが町内に13名いるが、活動している方が少ないので、全体的な資質向上が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域等の研修会の際には、継続して「ながさきファミリープログラム（ファシリテータ）」の活用を推進していく。 		
<p>○図書館が生涯学習の拠点として多様なニーズに対応できるよう、図書資料及び図書館システムの充実</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イントラを利用して図書館システムが構築され、移動図書館の活用により住民への読書環境の整備がされてきた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内幼稚園・小学校・中学校への導入も計画のままで、学校等の統廃合分館の在り方など、再編検討中の段階で未だ進展していない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車を効率よく活用して学校施設への訪問回数を増やしたり、町立図書館での図書ボランティアの育成を図り、読書環境の充実を目指す。 			
2次評価	<p>備蓄記念会館を含む社会教育所管の施設については、利用者の安全確保と施設の長寿命化のために、定期的な保守点検を継続するとともに、計画的な予防保全のための措置を検討していくこと。また、読書のまちづくりを推進していくため、図書館ボランティア養成講座など、利用促進につなげていくための育成を行いながら、住民にとって身近な使いやすい図書館として機能充実を図っていくこと。</p>		

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
公民館講座開設数	目標	-	-	-	-	-	20講座
	実績	15講座	7講座	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-
子ども体験交流学習参加者数	目標	-	-	-	-	-	80人
	実績	60人	45人	-	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	-	-	-	-
図書貸出冊数	目標	-	-	-	-	-	9冊
	実績	6.8冊	6.9冊	-	-	-	-
	達成率	-	4.5% (22.5%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-3-2-② 生涯学習による人づくり

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 体験交流学習補助事業 【生涯学習課】 (事業目的) 異なった環境での体験、交流を通してジュニアリーダーとしての人材育成を目指すことを目的としている。これにより子ども会の活動が活性化し、人的交流が進むことで地域の活性化が図られる。また、姉妹町村との相互交流を図ることで郷土を愛する心を育むことができる。 (事業概要) ・南阿蘇村体験交流学習事業 南阿蘇村でのキャンプ等野外活動 H27.7.22～7.24 2泊3日での実施 ・広川町体験交流学習事業 広川町での歴史散策・児童間交流等 H27.7.28～7.31 3泊4日での実施 ・北相木村体験交流学習事業 町内での海洋体験・施設見学等 H27.8.3～8.6、3泊4日での実施(ホームステイあり) 北相木村内での野外活動・伝統行事体験等 H27.12.24～12.29 5泊6日での実施(ホームステイあり)	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	実施件数		
		目標値	60名		
		実績値	45名		
		達成率	75%		
		決算(見込)額	1,370千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	参加者数÷募集参加者数		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			参加児童数 ・南阿蘇村：27名 ・広川町：10名 ・北相木村：8名 (成果・課題等) 全体的な児童数減少の中、参加者数については横ばいの傾向にある。今後は参加者の主体的な取り組みを促すためのメニュー作りに取り組み必要がある。	(成果・課題等)	

1-3-2-③ 学習基盤の整備

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	(事業名) 社会教育関係団体補助事業 【生涯学習課】 (事業目的) 町内で活動する社会教育関係団体を支援することで、社会教育の推進を図ることを目的としている。 (事業概要) 町女性団体協議会 780千円 町PTA連合会 500千円 生活学校連絡協議会 66千円 町青少年育成協議会 3,000千円 社明弁論大会実施委員会 100千円	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	交付団体数		
		目標値	5団体		
		実績値	5団体		
		達成率	100%		
		決算(見込)額	4,446千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	町内で活動する社会教育関係団体を支援することで、社会教育の推進が図られ、地域の活性化、文化の向上に繋がっていくため交付団体数を指標としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			あらゆる分野の活動に実施補助、活動実態把握のために各理事會・総会等に出席した。 (成果・課題等) 人手不足等により、活動が衰退してきている団体がある。打開策が必要である。	(成果・課題等)	